

助産師のための周産期メンタルヘルス教育 ～アセスメント知識と心理援助～

動画研修会（無料）と教材評価のための調査ご協力のお願い

周産期メンタルヘルスのアセスメント知識と援助技法に関する動画教材（北村メンタルヘルス学術振興財団作成）を使用した1日の研修会です。臨床例をもとに最新のDSM-5 診断基準、周産期メンタルヘルス学会コンセンサスガイドにも即した、臨床や地域支援で役に立つ内容です。内容は精神科医、産婦人科医、助産師、看護師、保健師が共同で作成しました。本研修会は本教材の教育効果評価を目的とした研究の一環です。そのため、研修時間内に2回（各40分程度）、テスト* と教材に関するアンケートへのご回答をお願いいたします。テスト結果によるご回答者様への不利益はありません。

* 属性についての質問、知識と技術に関する問題、心理援助への態度をおたずねする質問

● 研修内容

（午前）約2時間

《アセスメント知識編》

周産期の心理的問題はうつ病に限ったものではありません。配偶間暴力、児への愛着障害、児童虐待など様々です。こうした病態や心理状態について、広く学習します。アセスメントの要点と方法についてまとめます。

（午後）約2時間

《心理援助技法編》

周産期医療の現場で心理的問題が見つかった際、助産師はどのように対応すべきでしょうか。心理支援をより効果的に行うための基本的技法を、面接の実例を視聴しながら、身につけてゆきます。

● 日時

日時：2019年6月2日（日）9:30～17:15（受付：9:00～）

場所：仙台赤門短期大学（宮城県仙台市青葉区荒巻青葉6-41）

※地下鉄東西線青葉山駅徒歩15分、駐車場有

参加対象者：助産師および周産期ケアに携わる看護師、保健師の皆様で、同じ動画を視聴したことがない方

募集人数：先着100名

受講費：無料

申し込み〆切：2019年5月29日（水）

● お申し込み

申込書（裏面）または同様の内容をe-mailにて下記事務局まで。事務局より、詳細を記載したご説明書・同意書を郵送いたします。研修会当日に同意書をご提出ください。

事務局連絡先：研究代表者 篠原枝里子（東京医療保健大学東が丘立川看護学部 助教）

E-mail: mentalhealth.mw@gmail.com 電話：050-3590-4216

申込メール送信用QR↓

- ・本研究は、平成30年度文部科学省科学研究費助成事業（学術研究助成基金助成金）（若手研究）（課題番号：18K17585、研究課題名：ICTを活用した助産師の心理支援教育プログラムの開発および技術検証）により実施されます。
- ・本研修は、CLOMIP®レベルⅢの指定研修ではございません。



研修申込書 兼 研究説明書・同意書 送付依頼書

■2019年6月2日（日）仙台開催

助産師のための周産期メンタルヘルス教育～アセスメント知識と心理援助～
動画研修会に申し込みます。

日付 年 月 日

ご住所 〒 ー

E-mail _____

(ふりがな)
お名前 _____

- この情報は説明書・同意書等の発送にのみ使用致します。
- この用紙は研究実施中は規定の方法で厳重に管理し、終了後は速やかに破棄致します。
- 同意書のご提出がない場合にも、速やかに破棄致します。